

奈良県の労働市場の動き（平成29年10月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は、1.38倍で、前月より0.01ポイント上昇し平成の最高値を更新しました。
前年同月比では、0.19ポイント上回りました。
- 全国は1.55倍で、奈良県は0.17ポイント下回りました。
- 近畿ブロックは1.49倍で、奈良県は0.11ポイント下回りました。
- 有効求人（季節調整値）は、24,691人、前年同月比で8.5%の増加となりました。
前年同月比では、30か月連続の増加となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は、17,920人、前年同月比で6.2%の減少となりました。
前年同月比では、76か月連続で減少となりました。
- 新規求人倍率（季節調整値）は2.00倍でした。
前月より0.14ポイント下回りました。
- 新規求人数（季節調整値）は、8,138人、前年同月比で1.3%の減少となりました。
前年同月比で、7か月ぶりの減少となりました。

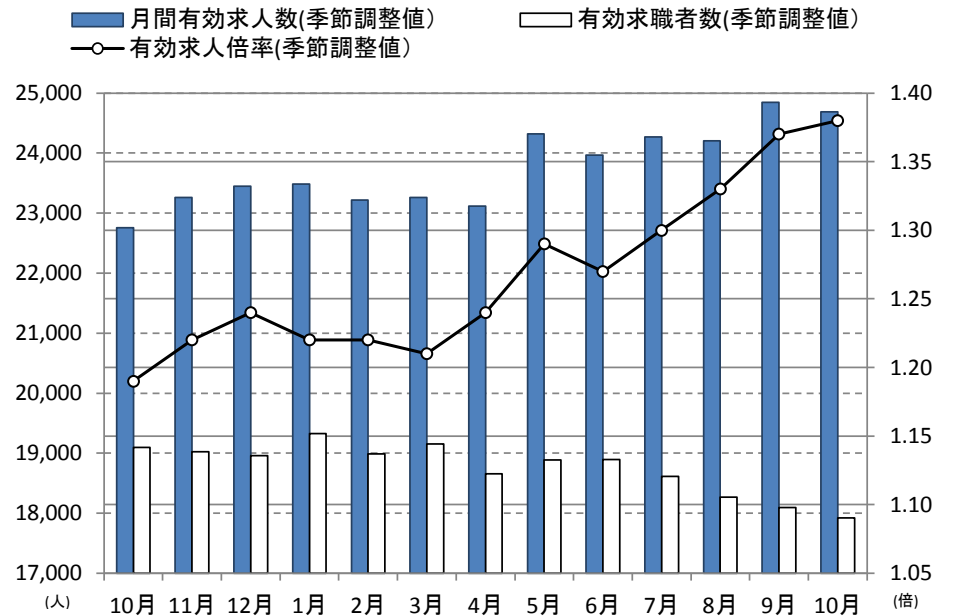
主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「製造業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「医療福祉」において増加し、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「サービス業(他に分類されないもの)」で減少しました。

建設業(前年同月比0.2%減)、
製造業(同18.0%増)、
運輸業、郵便業(同3.9%増)、
卸売業、小売業(同1.6%増)、
宿泊業、飲食サービス業(同12.8%減)、
医療、福祉(同15.6%増)、
サービス業(他に分類されないもの)(同20.0%減)

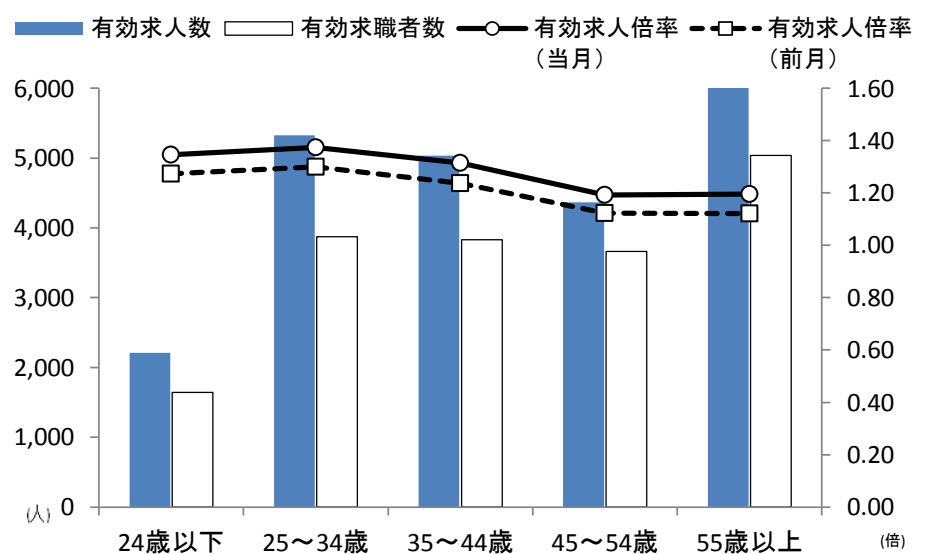
- 新規求人数（原数値）のうちパート求人は4,545人でした。
パート求人の比率は49.9%でした。
- 新規求職者（季節調整値）は、4,064人で、前年同月比で9.5%の減少となりました。
前月に比べて5.6%減少しました。
- 雇用保険受給資格決定件数は1,179件でした。
前年同月比で4.5%の減少となりました。
- 雇用保険受給者実人員は4,231人でした。
前年同月比で0.6%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成28年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

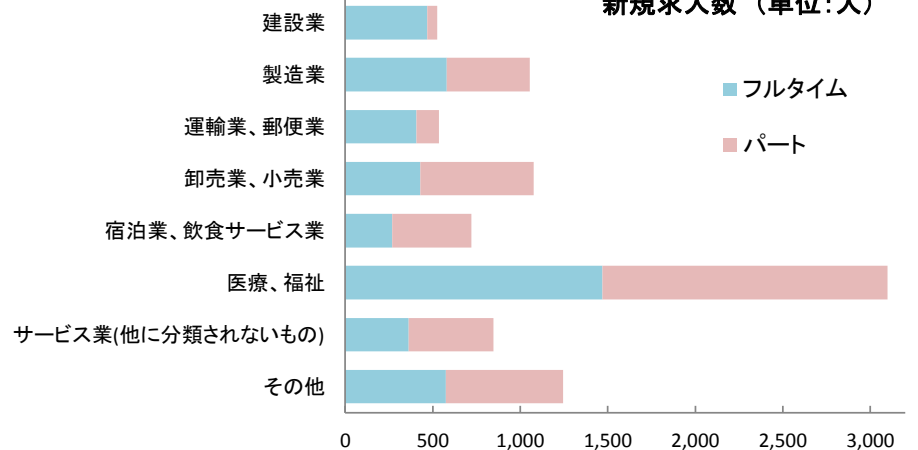
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)



新規求人数(単位:人)



新規求人の産業別割合

